

23. 安芸郡海田町最高峰

城山 (592.5m)

安芸郡海田町



この山の山頂付近に菅田豊後守が城主と伝えられる嵩山城(たけやまじょう)が築かれていたよう。築城年代不明。毛利元就によって滅ぼされたそう。

安芸郡海田町	2017,4,1 推定
<面積>	13.79 km ²
<人口>	29,226 人
<人口密度>	2,120 人/km ²

【山行日】 3月4日(日) ☆天候：晴れ

【参加者】 23名 CL宮木澄代 SL曾田映子

西田 菅原 中島(恵) 中島(靖) 田所 藤原 反田 松本 原田 中島(美) 宮木(一)
三浦 坂井 三村 林 横見 佐々木 滝 江本 石田 (会友) 藤井

【コースタイム】

R海田駅 9:00 集合→9:30 ふれあいバス乗車→運動公園トイレ体操後出発 9:35→
新峠 10:20→10:55 古峠 11:05→11:20 城山 11:40→12:05 昼食赤穂峠 13:00→
13:25 金ヶ灯籠山 13:35→障害者活動センター下山口 14:00→広電バス熊野車庫 14:30

【報告】

皆様の祈りでしょうか心配していた天気良くなり、登りだして間もなく汗が出始め衣服調整をして少し急な登りを新峠に向けて上がりそこを反対方向に行けば前回の安芸アルプスコース縦走となり前回、今回参加された方々達成感！万歳！といったところでしょう。

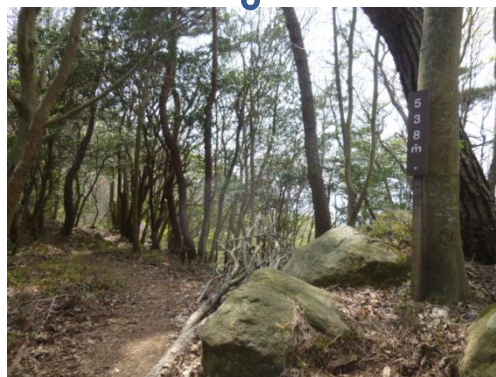
このコースはCLが提案されたようですが始めて来たといわれる方が多く展望も所々良く、やまぼうし日帰り登山新コースこれからも挑戦しましょう

沢山の参加ありがとうございました。

(記 曾田映子)



城山の山頂付近には山城跡を
を思わせる石組みが残って
いる。



城山の向かい側には日浦山、その間に海田の町がある。

海田は今川了俊の「道行きぶり」で知られているように中世には浦があった。古代山陽道では馬を備えた駅家として重要地点だったようで、山陽道が南側を通るようになってからも(西国街道)、広島城下の西玄関口として重要な位置を占めた。

江戸末期、日本は尊王攘夷等で内戦状態になった。広島の隣の長州藩は特に激しかった。禁門の変を長州が起こした時、広島藩は、広島城下およびその周辺の要地に柵門や番所を構え、役人を派遣して旅人の警護にあたらせたそう。奥海田村市頭(現：昭和町付近)には台場と関門が築かれたらしい。第一次長州征討が発せられると奥海田村・海田市・上瀬野村一貫田・中野村・府中村の軒別畳数の調査が命じられ、武器・兵器の運搬人夫とするために15歳以上50歳以下の人数調査をしたり、戦闘に参加する人数の割り当てもされたりしたよう。諸藩軍が続々来広し、海田市に多数滞在したようで、近くの島々に布団や膳・椀などの補充を要請した控え帳が残っている。第一次長州征討は実際の戦闘は行われず終わったが、第二次長州征討では、戦闘が起こり、海田にはその時の戦いで戦死した越後高田藩士の墓がある。越後高田藩は芸州口と言われる小瀬川で戦いを始めたのだが、この戦いの前年に越後を出発し、しばらく大坂にいて、その後、海田に半年以上も滞在させられていたよう。その上、先陣だったはずの広島藩は不参加。長州軍は広島藩領内に押し入り、廿日市市の宮内での戦いで34名もの戦死者を出した。海田町のお寺にお墓があるのは、宿陣していたのでここで茶毘にふされたからだろう。(参考：海田町史 昭和56年)

明顕寺の高田藩士の墓



安芸郡海田町最高峰 城山山頂で



今までやまぼうしで登った安芸郡海田町の他の山

日浦山